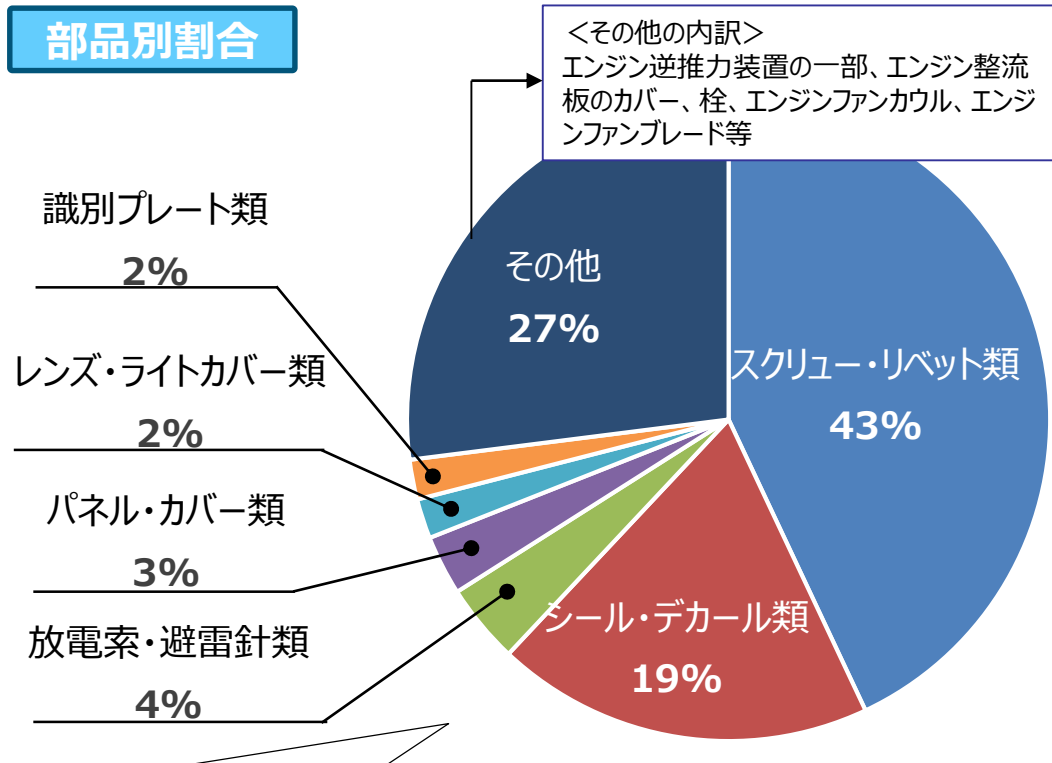
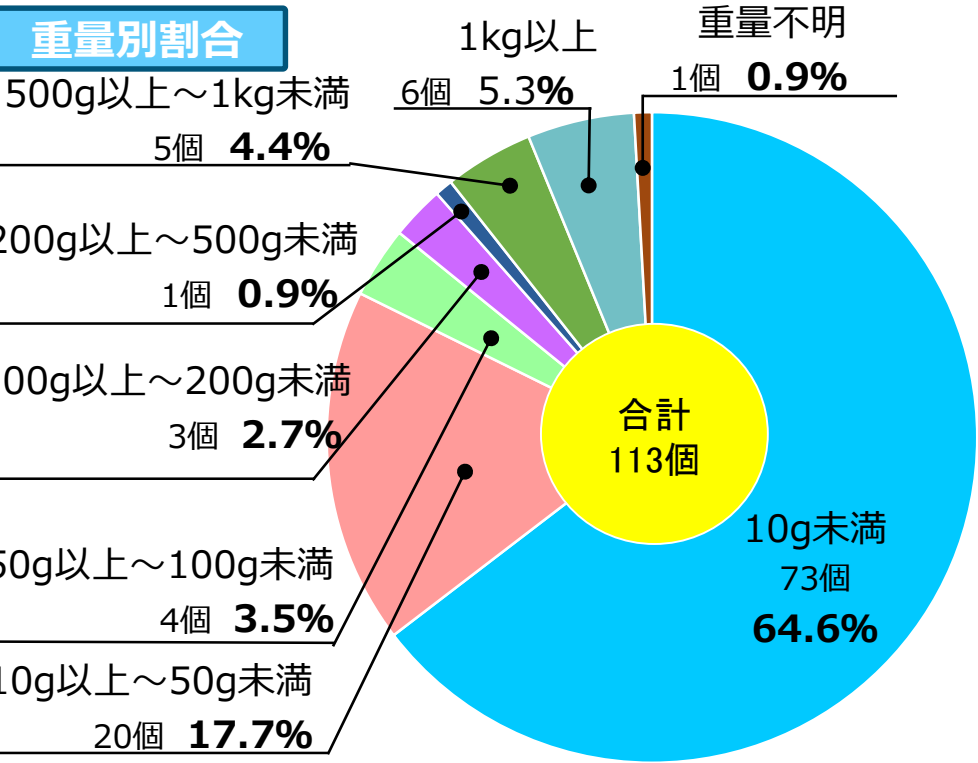


# 2020年12月～2021年1月における部品欠落の重量別・部品別割合

- 部品欠落の報告制度により、羽田空港を含む7空港において2020年12月～2021年1月に報告された欠落部品の総計は113個であり、そのほとんどは100g未満、6割以上は10g未満である。
- 減便が発生していた当該期間においても、駐機中の機体を含めて徹底的な点検等が実施されている。また、欠落部品の多数を占める10g未満の部品についても、各航空会社において、落下物防止対策基準に従って、欠落事例を分析し必要な再発防止策が進められている。



### 部品欠落の例



リベット(留め具)      シール      スタティックディスチャージャー(放電索)

- 部品欠落報告の約4割はスクリー、リベット等の留め具であり、重さは1グラム～10グラム程度のもがほとんど
- シール、デカール類の材質はアルミニウム、ゴム等であり、重さは1グラム～50グラム程度のもがほとんど
- スタティックディスチャージャー(放電索)、避雷針類の材質は複合材等であり、重さは5グラム～10グラム程度
- パネル類の材質は複合材、カバー類はスチール等であり、重さは6グラム～150グラム程度
- レンズ、ライトカバー類の材質はガラス、プラスチックであり、重さは30グラム～500グラム程度
- 識別プレート類の材質はスチール、アルミニウムであり、重さは1グラム～11グラム程度